

第1回 定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表 (R2.8)

項目番号	項目	自己評価			外部評価コメント
		実施状況 できている	ほぼできている	ができていないこと 多くない	
<b>I 構造評価 (Structure) 適切な事業運営</b>					
1	理念の明確化 サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	4	1	1	理念の明確化が、継続的に行うよう望まれている。 (R2.8.4)
2	(2) 適切な人材の育成 専門技術の向上のための取り組み	1	5	1	理念の共有の取組が、定期的に行われている。 (R2.8.4)
3			6	6	研修評価について、定期的に実施している。 (R2.8.4)
4			6	6	研修評価について、定期的に実施している。 (R2.8.4)
5	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保		5	1	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保が、十分に確保されている。 (R2.8.4)
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>					
6	組織マネジメントの取り組み		1	5	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている。 (R2.8.4)
7	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映		1	4	地域の事業情報、相談窓口との連携、相談等について、定期的に実施している。 (R2.8.4)
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>					
8	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備		4	2	利用者等の状況について、(個人情報保護に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるように工夫されている。 (R2.8.4)
<b>(5) 安全管理の徹底</b>					
9	職員安全管理		6		サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等) (R2.8.4)
10	利用者等に係る安全管理		2	4	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている。 (R2.8.4)
<b>II 過程評価 (Process)</b>					
<b>(1) 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>					
11	利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成		5	1	利用者等の一日の生活リズムに着目し、アセスメントが提案されている。 (R2.8.4)
12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		2	3	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている。 (R2.8.4)
13	利用者等の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成		2	4	利用者等の心身の機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている。 (R2.8.4)
14			6		重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者等の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている。 (R2.8.4)
<b>(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>					
15	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供		5	1	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供が、必要に応じて実施されている。 (R2.8.4)
16	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映		5	1	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が、必要に応じて実施されている。 (R2.8.4)
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>					
17	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供		2	4	より効果的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職・看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている。 (R2.8.4)
18	看護職によるサービス提供に関する指導、助言		1	4	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている。 (R2.8.4)

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント	
			実施状況						
			できている	ほぼできている	できていないこと	全くできていない			
(4) 利用者等との情報及び意識の共有 利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが利用者等の在宅生活の継続と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	4	2			計画と通り行っている	「計画通り」だと思っております	
	20	利用者等との目標及び計画の内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	3	3					
	21	利用者等の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	5	1					
	2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
	(1) 共同ケアマネジメントの実践 利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に関する情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	5	1			計画と通り行っている	計画通りだと思っております
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォア・マール・イン・フォア・マールサービスの活用を含む)が行われている	4	2				
		24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	4	2				
25		利用者等の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォ・マールケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	4	2				適切なサポートを積極的に行っています	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献 利用者等の在宅生活の継続に必要なサポートについての、多職種による検討	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスの提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	4	2				適切なサポートを積極的に行っています	
	27	地域における利用者等の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	4	2					
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案 介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		6			事業計画のホームページに掲載している		
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		4			月に一回は居宅地内関係者や地域関係者へ		
	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステム構築方針や計画の内容等について十分に理解している		4	2		着目してわかっている、理解も深まっている	包括的連携	
(2) まちづくりへの参画 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		3			役員が行っている	望んでいまして、ご指摘ありがとうございます	
	32	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等		2	4		まちづくりの課題を把握し、地域全体から代表と話をしながら		
Ⅲ 結果評価 (Outcome)									
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	9	3			サービス導入後の計画目標の達成状況を確認している	素晴らしい、感謝	
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている					目標が達成出来、安心して暮らせる	思っています	

中事所 様